

送迎保育ステーション事業

自治体情報 **千葉県流山市**
 人口 / 164,294人 標準財政規模 / 26,529百万円

担当課 子ども家庭部保育課
電話番号 直通 04-7150-6124
実施主体 社会福祉法人 高砂福祉会
関連ホームページ <http://www.city.nagareyama.chiba.jp/section/hoiku/sougeihoiku.htm>
事業期間 平成19年度から
関係施策分類

予算関連データ

総事業費：28,000千円

名称	所管	金額(千円)
安心こども基金	千葉県	14,000
一般財源	-	14,000

施策のポイント

本市に子育て世代が多く転入し、保育重要も伸びる中で駅前に保育送迎ステーションを設置し、市内の保育所に園児を送迎することにより、集中から分散する保育が可能となり、待機児童数の抑制を図っている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

つくばエクスプレス沿線の4か所で区画整理事業を展開している中、平成17年には鉄道が開業されたところである。開業及び区画整理事業の進捗に合わせ、子育て世代が多く転入することが予想される中、区画整理地内で保育所を保育需要に合った設置をすることも困難なことから、既存の保育所を有効的に活用し、待機児童を少なくすることを目的として取り組んだもの。

2. 取組の具体的内容

つくばエクスプレスの市内主要駅の流山おおたかの森駅、南流山駅に送迎ステーションを設置し、業務委託した社会福祉法人によりバスを運行し、利用する市内の保育所に送迎を行う。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

送迎保育ステーションの活用及び保育所施設整備事業を展開し、待機児童ゼロを目指す。

4. 現在までの実績・成果

流山おおたかの森駅前ステーションの利用登録者数

開設（平成19年度）76名 平成22年度170名と利用者数は増えており待機児童数の減少に貢献している。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

流山おおたかの森駅前の送迎ステーションについては、区画整理事業の施工者が送迎保育を見据えたビルとしたため、雨に濡れないアクセス及び送迎時の降車の安全性が予め確保された。

6. 今後の課題と展開

今後とも保育需要が増えることが想定されることから、増車及び増車に伴う予算の確保が課題となるが、待機児童ゼロに向け充実した送迎ステーションを展開したい。